

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【公表番号】特表2006-508985(P2006-508985A)

【公表日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-011

【出願番号】特願2004-553817(P2004-553817)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4535 (2006.01)

A 6 1 P 25/20 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 407/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/46 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4535

A 6 1 P 25/20

A 6 1 P 43/00 1 2 3

C 0 7 D 407/06

A 6 1 K 47/46

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月27日(2006.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの対象動物を一時的に活動無能力化するために展開される少なくとも1つのエステル不含有親化合物を修飾して、該修飾化合物への曝露が停止された時に該修飾化合物が不活性で無毒な代謝物に速やかに代謝されることを確実にするための方法であって、1つ以上の予め定められた化学的配置を該親化合物に組み込むことを含み、該化学的配置は、

- R - X - R

(R は、該親化合物に既に存在しているかまたは代謝的に安定な接続を経て該親化合物に特別に付加されているフェニル、置換アリールまたはヘテロアリール系であり；

Rは、0~10炭素の分岐または非分岐鎖を有するアルキルまたはアルケンであって、該親化合物に既に存在しているかまたは代謝的に安定な接続を経て R に付加されたものである；

Xは、代謝的に安定な接続を経てRに特別に付加されているカルボキシル、スルホキシルまたはホスファチル官能基であり；

R は、1~10炭素を有する分岐または非分岐のアルキル、アルケニルまたはアルアルキル基であって、代謝的に不安定な様式でXに付加されているか、または代謝的に不安定な様式でXに接続されている親化合物の元来的部分として既に存在している構造要素である)

を含む方法。

【請求項2】

は、該親化合物に既に存在しているフェニル系であり、Rは、0~10炭素の分岐または

非分岐鎖を有する付加アルキルまたはアルケンであり、Xは、カルボキシル、スルホキシルまたはホスファチル官能基であり、かつR₁は、1~10炭素を有する分岐または非分岐のアルキル基である、請求項1の方法。

【請求項3】

該親化合物が暴動制圧剤を含む、請求項1の方法。

【請求項4】

該親化合物がフェンタニルを含む、請求項3の方法。

【請求項5】

該対象動物が哺乳類である、請求項1の方法。

【請求項6】

該対象動物がヒトである、請求項1の方法。

【請求項7】

対象動物を活動無能力化するために使用される組成物であって、元来存在するフェニル環系に組み込まれた1つ以上の予め定められた化学的配置によって修飾された少なくとも1つのエステル不含有親化合物を含み、該化学的配置は、



(Rは、0~10炭素の分岐または非分岐鎖を有するアルキルまたはアルケンであって、該フェニル環系内のいずれかの非置換炭素原子に直接接続されており；

Xは、代謝的に安定な連結を経てRに接続されているカルボキシル、スルホキシルまたはホスファチル官能基であり；

R₁は、1~10炭素を有する分岐または非分岐のアルキル、アルケニルまたはアルアルキル基であって、対象動物による代謝に対して不安定である連結を経てXに接続されている)

を含む組成物。

【請求項8】

該対象動物が哺乳類である、請求項7の組成物。

【請求項9】

該対象動物がヒトである、請求項8の組成物。

【請求項10】

該エステル不含有親化合物がフェンタニルを含む、請求項7の組成物。

【請求項11】

少なくとも1つの予め定められた化学的配置が付加されており、そこでRがエチル鎖であり、Xがカルボキシル官能基であり、かつR₁がメチル基である、請求項7の組成物。

【請求項12】

アニリンタイプの元来存在するフェニル環系に接続された1つ以上の予め定められた化学的配置によって修飾されたフェンタニルを含む組成物であって、該化学的配置は、



(Rは、0~10炭素の分岐または非分岐鎖を有するアルキルまたはアルケニルであって、該フェニル環系内のいずれかの非置換炭素原子に接続されており；

Xは、代謝的に安定な連結を経てRに接続されているカルボキシル、スルホキシルまたはホスファチル官能基であり；

R₁は、1~10炭素を有する分岐または非分岐のアルキル、アルケニルまたはアルアルキル基であって、対象動物による代謝に対して不安定である連結を経てXに接続されている)

を含む組成物。

【請求項13】

該対象動物が哺乳類である、請求項12の組成物。

【請求項14】

該対象動物がヒトである、請求項13の組成物。

【請求項15】

少なくとも 1 つの予め定められた化学的配置が付加されており、そこで R がエチル鎖であり、X がカルボキシル官能基であり、かつ R がメチル基である、請求項 1 2 の組成物。

【請求項 1 6】

元来存在する非窒素置換フェニル環系に接続された少なくとも 1 つの予め定められた化学的配置によって、およびアニリンタイプの元来存在するフェニル環系に接続された少なくとも 1 つの予め定められた化学的配置によって修飾されたフェンタニルを含む組成物であって、該化学的配置は、



(R は、0 ~ 10 炭素の分岐または非分岐鎖を有するアルキルまたはアルケンであって、元来存在する該フェニル環系内のいずれかの非置換炭素原子に直接接続されており；

X は、代謝的に安定な連結を経て R に接続されているカルボキシル、スルホキシルまたはホスファチル官能基であり；

R は、1 ~ 10 炭素を有する分岐または非分岐のアルキル、アルケニルまたはアルアルキル基であって、対象動物による代謝に対して不安定である連結を経て X に接続されている)

を含む組成物。

【請求項 1 7】

該対象動物が哺乳類である、請求項 1 6 の組成物。

【請求項 1 8】

該対象動物がヒトである、請求項 1 7 の組成物。

【請求項 1 9】

R は、元来存在する非窒素置換フェニル環系におけるおよびアニリンタイプの元来存在するフェニル環系におけるエチル基であり；

X は、元来存在する非窒素置換フェニル環系におけるおよびアニリンタイプの元来存在するフェニル環系におけるカルボキシル官能基であり；

R は、元来存在する非窒素置換フェニル環系におけるおよびアニリンタイプの元来存在するフェニル環系におけるメチル基である、請求項 1 6 の組成物。

【請求項 2 0】

少なくとも 1 つの予め定められた化学的配置が、フェンタニルにおいて元来存在するアニリンタイプのフェニル環系に接続されており、そこで R がエチル鎖であり、X がカルボキシル官能基であり、かつ R がメチル基である、請求項 1 6 の組成物。

【請求項 2 1】

少なくとも 1 つの対象動物を一時的に活動無能力化するための組成物であって、組成物への曝露を停止した時に不活性で無毒な代謝物へ速やかに代謝される請求項 7 の少なくとも 1 つの組成物を有効量で含む組成物。

【請求項 2 2】

該対象動物が哺乳類である、請求項 2 1 の組成物。

【請求項 2 3】

該対象動物がヒトである、請求項 2 1 の組成物。

【請求項 2 4】

少なくとも 1 つの対象動物を一時的に活動無能力化するための組成物であって、組成物への曝露を停止した時に不活性で無毒な代謝物へ速やかに代謝される請求項 1 0 の少なくとも 1 つの組成物を有効量で含む組成物。

【請求項 2 5】

該対象動物が哺乳類である、請求項 2 4 の組成物。

【請求項 2 6】

該対象動物がヒトである、請求項 2 5 の組成物。

【請求項 2 7】

少なくとも 1 つの対象動物を一時的に活動無能力化するための組成物であって、組成物への曝露を停止した時に不活性で無毒な代謝物へ速やかに代謝される請求項 1 1 の少なく

とも 1 つの組成物を有効量で含む組成物。

【請求項 28】

該対象動物が哺乳類である、請求項 27 の組成物。

【請求項 29】

該対象動物がヒトである、請求項 28 の組成物。

【請求項 30】

少なくとも 1 つの対象動物を一時的に活動無能力化するための組成物であって、組成物への曝露を停止した時に不活性で無毒な代謝物へ速やかに代謝される請求項 12 の少なくとも 1 つの組成物を有効量で含む組成物。

【請求項 31】

該対象動物が哺乳類である、請求項 30 の組成物。

【請求項 32】

該対象動物がヒトである、請求項 31 の組成物。

【請求項 33】

少なくとも 1 つの対象動物を一時的に活動無能力化するための組成物であって、組成物への曝露を停止した時に不活性で無毒な代謝物へ速やかに代謝される請求項 15 の少なくとも 1 つの組成物を有効量で含む組成物。

【請求項 34】

該対象動物が哺乳類である、請求項 33 の組成物。

【請求項 35】

該対象動物がヒトである、請求項 34 の組成物。

【請求項 36】

少なくとも 1 つの対象動物を一時的に活動無能力化するための組成物であって、組成物への曝露を停止した時に不活性で無毒な代謝物へ速やかに代謝される請求項 16 の少なくとも 1 つの組成物を有効量で含む組成物。

【請求項 37】

該対象動物が哺乳類である、請求項 36 の組成物。

【請求項 38】

該対象動物がヒトである、請求項 37 の組成物。

【請求項 39】

少なくとも 1 つの対象動物を一時的に活動無能力化するための組成物であって、組成物への曝露を停止した時に不活性で無毒な代謝物へ速やかに代謝される請求項 19 の少なくとも 1 つの組成物を有効量で含む組成物。

【請求項 40】

該対象動物が哺乳類である、請求項 39 の組成物。

【請求項 41】

該対象動物がヒトである、請求項 40 の組成物。